**添付資料Ｂ**

【上級データサイエンス・AI実務パスポート】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価  （項目別）レベル | 学生自己評価  （領域別）総合評価 |
| 領域１　情報社会において情報を適切に収集・分析する知識と技能を持ち、他者への思いやりを持って、論理的・倫理的に実践する重要性を理解している。 | 1-1  情報社会における情報の知識 | ①情報がもつ特性、その表現方法を理解している。テキスト，画像，動画，音声，位置情報など、多様なデジタルデータの収集や保管、扱いについて説明できる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②インターネット上の様々な公開情報や、SNS等による多様で複合的な情報コミュニケーションの方法，特性，社会的な意義や影響を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| ③デジタル技術が社会にもたらすメリットとリスクを理解し、個人情報保護，知的財産権、サイバーセキュリティについて説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2  情報社会において情報を収集・分析する技能 | ④インターネット上の様々な情報や、業務で発生する情報、他者が収集する情報などの意味を正しく評価し、適切な方法で収集・分類できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑤データベースやデータ構造(構造化テキストデータ) を理解し、検索ツールやデータ収集ツールの原理について説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥データ加工やデータマイニングについての原理について説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-3  情報社会において情報を扱う態度 | ⑦必要な情報を収集・分析し、科学的・論理的に判断できる。他者の考えを踏まえ、自分の考えが客観的に適切かどうかを判断できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧情報倫理を理解し、インターネット上で情報共有者，発信者として適切に行動できる。自分の行動が、社会とのコミュニケーションにおいて、どのような意味や価値をもつかを判断できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　データサイエンス・データエンジニアリング・AI技術の知識と技術を理解・修得した上 で、それらを実務に適切に活用する実践力を有し、成果を出すことができる。 | 2-1  データエンジニアリングの知識と技法 | ⑨様々なビッグデータの種類や特性、その構造と活用方法を理解している種類や特性の異なるビッグデータを、連携させて扱う方法を修得している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑩ビッグデータを適切に扱い、構造化データとして蓄積し、抽出，集計，ソート，サンプリングしたりするなどの基礎的なデータ加工やデータマイニングを行うことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2  データサイエンスの知識と技法 | ⑪データサイエンスの基礎となる数学(統計，多変量解析等)を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑫統計解析の知識を活用してデータを分析し、「意味」「原因」「推論」など、何らかの「手がかり」を見つけ出すことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬データの分析から得られた「手がかり」を効果的に可視化し、プレゼンテーションに活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3  AIの概念・技法・応用事例の知識と活用 | ⑭機械学習，ディープラーニング等について、原理を理解し、ツールとして活用するための方法を修得している。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑮AIの社会での活用事例とその意義について十分な知識を持ち、AIを実務に活用するための取り組みを主導できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　情報社会において、対象となる課題を科学的・論理的に発見・分析し、適切に表現することで、主導的に業務を変革し、課題を解決する能力を身に付けており、学びの継続力の重要性を理解している。 | 3-1  課題発見力・分析力・表現力と共有化の総合的技能 | ⑯身近な状況の中から課題を発見し、解決に結びつくデータを収集することができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑰収集したデータを科学的に分析し、解決方法を見出すことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑱データや分析結果を適切に可視化し、課題を明確に表現することができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑲コミュニケーションの本質を理解し、集団の前で効果的にプレゼンテーションができ、また、共同作業において様々な目的で話し合いができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2  課題解決の態度と学びの継続力 | ⑳グループ活動において、相手の立場を理解して合意点を探り、協調でき、必要に応じてリーダーシップを取るなど、適切に活動できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ㉑社会の変化を感知し、学びを継続して自分のライフキャリアを考え続けることができる。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
| 教職員提出確認 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏　名 |  |